

# 全能性プログラム： デコーディングからデザインへ 第1回公開シンポジウム (キックオフシンポジウム)

Program of totipotency: From decoding to designing

会  
期

2019年11月21日(木) - 22日(金)

会  
場

大阪大学微生物病研究所 融合棟1F 谷口記念講堂  
大阪府吹田市山田丘3-1

## 11月21日(木)

14:30-14:55  
ゲノム編集マウスを用いた受精必須因子の探索  
伊川 正人

14:55-15:10  
精子幹細胞の老化メカニズム  
篠原 隆司

15:10-15:35  
核内アクチン重合化は受精卵前核の機能維持と初期胚発生に必要である  
宮本 圭

15:35-15:50  
直接計測から見てきた核の力学特性制御の仕組み  
島本 勇太

特別講演  
16:10-17:10  
RTK-RAS-MAPKシステムのゆらぎ  
佐甲 靖志



特別講演  
17:20-18:20  
多数の遺伝子操作動物から見てくる遺伝子機能のもつ普遍的な性質  
岡部 勝



18:45-  
懇親会@BISYOKU

## 11月22日(金)

10:30-10:55  
受精前後におけるクロマチン構造と遺伝子発現パターンの変化について  
青木 不学

10:55-11:20  
雌ハムスターにおけるPIWI/piRNA経路の機能解析  
塩見 春彦

11:20-11:45  
胎盤特異的インプリンティングの制御機構  
井上 梓

11:45-12:00  
ストレスに依存的なp53活性化による未分化状態の制御  
山口 新平

13:00-13:25  
カエルの卵を使って全能性を理解する戦略  
新富 圭史

13:25-13:50  
マウス初期発生におけるヒストンH3バリエーションの動態  
石内 崇士

13:50-14:15  
雄核発生胚に由来するヒトTS細胞の樹立  
岡江 寛明

14:15-14:30  
幹細胞による人工胚盤胞の作製  
大日向 康秀

14:50-15:15  
マウス核移植技術を用いた胎盤特異的刷込み遺伝子の役割の解明  
小倉 淳郎

15:15-15:30  
マウス初期胚の第二極体における半数体ゲノムの安定性と発生運命  
日野 敏昭

15:30-15:55  
遺伝子改変マーマーモセットの作製  
佐々木 えりか(黒滝 陽子)

シンポジウム参加費無料、事前登録不要

懇親会は事前登録必要  
(参加費 学生 3,500円・その他 5,000円 totipotency@biken.osaka-u.ac.jp まで)